

# 日本鐵鋼協會 第十三回 聯合講演大會狀況報告

## 滿洲冶金學會 第七回

昭和9年10月6日(土曜)大連集合。會長初め東京以北東の多數會員は10月3日午後1時東京を發し翌4日午前8時50分下關着大阪商船定期船亞米利加丸に乗船された。神戸乗船及び門司乗船出席者を合併したる亞米利加丸は船中既に大會氣分に浸るの有様である。一路平安なる航海を續け6日午前7時20分大連港外に着き同8時30分埠頭に上陸された。長谷川副委員長以下大連旅順方面の實行委員は打揃ふて埠頭に出迎え貴賓室に休憩を乞ひ直に受付事務を開始する事となる。到着會員には夫々準備せる大會出席者名簿、宿泊旅館豫定、奥地見學旅行プログラム、旅順大連見學プログラム、役員徽章等を配布し直に旅館の決定、見學先の決定、會費の受入等の事務を行ふ。滿洲技術協會々長貝瀨謹吾氏より一同に對し歓迎の挨拶あり晝食の招待を披露さる。参加者には夫々大連市内知友の出迎者多く休憩室は談笑に賑ふ。本日來着せる参加者は野田會長、水谷理事、岩瀨(徳)、齋藤(大)兩評議員以下28名で夫々旅館に着き旅装を解かる。

**技術協會晝食招待** 本日上陸會員及び出迎委員等計20名に大連在住技術協會員10餘名東公園町滿洲技術協會館に集合し懇談する事となつた。食前會議室に於て貝瀨會長より歓迎の挨拶を述べられ印刷物に就き技術協會の事業概要を説明さる。出席會員には技術協會誌9月號、同協會事業概要、滿洲風俗繪葉書等の寄贈を受く。食後野田會長より謝辭を述べられ一同別室に於て懇談し大連及び全滿洲に關し豫備智識を得る。

午後自由散歩及び市内用辨に過す。

5日入港定期船により到着せる會員を初め汽車又は飛行機等により陸路來會する者6日夜より7日にかけて陸續到着した。

**大會事務所** 去5月以來昭和製鋼所大連出張所にて大連に於ける大會事務を所理し來れるも本日より大廣場ヤマトホテル内に豫定せる一室を借り切り一切の事務を所理する事となる。庶務會計に關しては長谷川副委員長、桑原委員及び補助員2名を以て執掌する事となる。

**旅館** 大廣場ヤマトホテル、星ヶ浦ヤマトホテル、遼東ホテルの三ヶ所に大部分宿泊する事となる。野田會長、齋藤博士、水谷博士、伍堂博士、以下數名は星ヶ浦に宿泊し其他は他の二ヶ所に分宿した。

**大會實行委員** 本大會實施に當り會長より委囑された實行委員は次の諸氏である。

委員長	昭和製鋼所社長	工學博士	伍堂 卓雄君
副委員長	昭和製鋼所	工學士	久保田 省三君
副委員長	旅順工科大学教授	工學博士	長谷川 熊彦君
副委員長	本溪湖煤鐵公司總辦		鮫島 宗平君
副委員長	兼二浦製鐵所所長	工學士	萩野 友助君
大連及旅順方面關係委員。			
副委員長			長谷川 熊彦君
委員	大華電氣冶金公司社長		上島 慶篤君
同	同 公司		荻原 三平君
同	滿鐵沙河研究所		井上 愛仁君
同	同 所		日下 和治君
同	昭和製鋼所大連出張所々長		桑原 敏夫君
同	旅順工科大学教授		大日方 一司君

同	旅順工科大学助教授	松塚 清人君
鞍山以北關係委員。		
副委員長	昭和製鋼所	久保田 省三君
委員	同	梅根 常三郎君
同	同	久留島秀三郎君
同	同	水津 利輔君
同	同	梅津 忠良君
同	同	石井 完君
本溪湖煤鐵公司委員。		
副委員長		鮫島 宗平君
委員	同	梶山 又吉君
同	同	井門 文三君
同	同	荒木 利恭君
同	同	尾崎 眞一君
同	同	日高 長次郎君
撫順委員	撫順炭礦	大野 義雄君
新京委員	滿洲國實業部	高木 佐吉君
同		赤瀬川 安彦君
兼二浦製鐵所委員。		
副委員長		萩野 友助君
委員	兼二浦製鐵所	桑山 貞治郎君
同	同	松本 與三郎君
同	同	田畑 農夫君
同	同	伊藤 隆吉君
同	同	佐伯 卓平君
奉天造兵所委員	奉天造兵所	松本 古一郎君
同	同	中元寺 一翁君
以上 32 名		

### 第1日 (10月7日 日曜 快晴)

**旅順見學** 午前9時大廣場ヤマトホテルに集合し自動車14臺を連ね實行委員松塚氏の世話により岩瀨評議員以下41名別に星ヶ浦にて水谷理事、齋藤博士及一名を加へ旅大南道を旅順に向ふ。空は遺憾なく晴れたる小春日の暖氣にて旅大八景の秋色を賞しながら午前10時30分旅順戦利品博物館に到着す。旅順委員より案内地圖の配布を受け戦跡案内専門家大坪君を東道とし所定の見學を進めた。戦利品博物館にて日露旅順戦役の梗概を知り、東鷄冠山に登り永久堡壘戰の代表的として著明なる北堡壘に下車し詳細に見學し説明を聞く、次で白玉山に登り日露役に犠牲となれる2萬餘名の忠勇將兵の遺骨を納めたる納骨祠に参拜す。12時30分一行車を連ね旅順ヤマトホテルに着き關東廳招待午餐會に出席した。

**關東廳招待午餐會** 出席會員合計44名主人側は日下内務局長、土木課長、商工課長、農林課長、以下5名、デザートコースに於て日下局長より歓迎の挨拶あり之に對し齋藤博士一同を代表して謝辭を述べられた。

午後2時30分工科大学に着き本館、陳列館、中央研究室、電氣研究室、應用力学實驗室、水力學實驗室、工作實驗室、熱機關實驗室、探鑛實驗室、冶金實驗室を一順見學す。

爾靈山登山。乃木將軍の爾靈山之詩と共に千古不滅の二〇三高地